

令和7年度

椎葉民俗芸能博物館 AV機器等改修業務 仕様書

1. 業務名称

令和7年度 椎葉民俗芸能博物館AV機器等改修業務

2. 委託期間

委託期間: 令和8年3月6日まで

3. 契約上限額

¥14,316,000 円(消費税を含む)

4. 業務の目的および背景

椎葉民俗芸能博物館は、椎葉村に伝承される民俗芸能や暮らしの文化を保存・継承し、地域の歴史を発信する拠点として平成9年に開館した。開館から約30年が経過し、展示設備や視聴覚機器、展示物の老朽化が顕著となっている。

また、来館者の減少やニーズの多様化を受け、より魅力的で分かりやすく、ユニバーサルデザインにも配慮した展示環境の整備が急務となっている。本業務は、時代に合わせたAV機器類の更新および展示更新に特化した改修を通じて、地域文化の魅力を再発信し、来館者の体験価値を向上させることを目的とする。

5. AV機器の展示課題や現状

- 映像はDVDによるリピート再生で、観客が視聴する映像を自由に選択できない仕様になっている
- 同じ階に複数の映像が流れているが、それぞれの映像の音が混ざり聞こえづらい
- 既存の映像は約30年前に制作されたもので、非常に充実した内容ではあるが画質や演出手法が時代に即していない

- 映像画面が高い位置にあり、高さの調節もできないため、子どもにとっては映像が見えづらい仕様になっている
- 既存の映像資料にはテロップがなく、外国人など日本語の分からない視聴者や耳の不自由な方には映像内容が伝わらない
- DVDで再生しているため展示映像の内容変更が容易ではない

展示室の規模

展示室の様子の写真等は別添①「平成7年 椎民俗芸能博物館展示工事 資料・椎葉民俗芸能博物館館内写真」を参照

1階 エントランス36.4㎡、展示室 約115㎡

2階 展示室 約83㎡

3階 展示室 約83㎡

6. 業務内容および要件

以下の各項目について、設計・制作・設置・調整・納品・マニュアル整備を含む一連の業務を実施する。

(1)AV機器の更新およびシステム設定

【概要】

1. 展示室内の視聴覚設備(モニター、スピーカー、メディアプレイヤー等)の更新および音響環境の最適化
2. プロジェクター投影システムの設置
3. AV機器故障時の対応マニュアルの作成

【要件】

設置にあたっては参考品番の製品と同等以上の性能を有する事。なお、最終的な機材の決定は当館と協議の上、他の展示にあわせたデザインのものを選定する。

1. 展示室内の視聴覚設備(モニター、スピーカー、メディアプレイヤー等)の更新

1-1. タッチパネル制御システム

- 下記のA・Bあわせて少なくとも10台導入すること
- タッチパネルと制御システムは、一体型(例えば、タブレット、タブレットPC、クロームブック)・個別独立型(例えば、タッチパネルモニターとPC)が問わない
- メモリーは8GB以上とする
- モニターサイズは16インチ以上とする
- タッチパネル機能を有すること
- 画素数は1920×1080ピクセル以上とする
- 設置する箇所は、契約後当館と協議の上決定する

A: 第1展示室 1台、第2展示室 2台、第3展示室 2台、第4展示室 2台

1) 壁掛け、着脱可能なもの

2) 自立スタンドに設置できるもの(スタンドの条件は1-3を参照)

※上記の1)2)の条件を満たすこと

※モニター参考品番: TM14D1M76-V1B

B: 3F「椎葉の民俗音楽」視聴覚コーナー 3台

- 既存の什器に収まるサイズ(15インチ程度)のモニターの導入、もしくは什器の新調も含めたモニター展示の提案を行うこと

※モニター参考品番: B0D3XD1SFN

1-2. スピーカー

- モニターに合わせて、少なくとも10台導入すること
- 別の映像機器と音が交わらないよう、指向性のあるものとする
- 音量の調整などが容易に出来るものが望ましい

※スピーカー参考品番: CF-S100

1-3. タブレット用スタンド

- モニターに合わせて、少なくとも10台導入すること
- 子どもから大人まで、多様な来館者の背丈を想定した高さに設置すること
- 高さを変えられるスタンドにすること
- タブレットの盗難防止などを考慮した仕様になっていること
- コードなどが収納できる仕様になっていると望ましい
- 館内のコンセプトや雰囲気 に即した新たなスタンドの制作も可とする

※スタンド参考商品: Surfaceエンクロージャー高さ調整式フロアスタンド – Spaced

1-4. 3F 第4展示室 神楽ミニチュア投影コーナー

- ミラー投影モニターを改修すること
- 映像選択をするボタンをタッチパネルにして、選択出来るようにすること
- 指向性があり、音量を容易に変更できるスピーカーにすること
- 映像は現在投影している神楽映像全てを視聴できるようにすること(24地区)
- 映像を選択する画面にはサムネイル画像と神楽保存会名・演目名を入れること

※モニター参考品番: TM14D1M76-V1B

※スピーカー参考品番: CF-S100

2. プロジェクター投影システムの設置

プロジェクターとプロジェクター用スクリーン

- 3F御神屋に1台導入すること
- 大きさは100インチ程度にすること
- 背後が透けて見えるタイプのスクリーンにすること
- スクリーンは天井に収納できるタイプにすること
- スクリーンはプロジェクターで映像を流すボタンを押した際に、連動して昇降するようプログラムすること
- 映像選択システムはタッチパネルで選択できる仕様にすること

※プロジェクター参考品番: PT-CMZ50JB

※電動式スクリーン参考品番:FEK-HD100S

※イメージ図 御神屋内にて実際に舞っているように見えることが理想



△現状の3F御神屋



△モニター設置イメージ図

3. AV機器故障時の対応マニュアルの作成

- 映像機器が故障した際の対応手順などを明記すること
- 業務完了時、椎葉民俗芸能博物館スタッフ(最低3名)と椎葉村役場教育委員会職員(最低2名)に向けて、故障時対応の講習を椎葉民俗芸能博物館内にて行うこと
- 契約期間中に対応マニュアルを作成し、椎葉民俗芸能博物館と椎葉村役場教育委員会の2箇所に配置すること

(2)映像コンテンツの新規制作・映像データの管理

【概要】

1. 椎葉村の民俗文化(伝統芸能や伝統食など)の解説映像制作(約10~15分)
2. サーバ構築およびプログラム制作
椎葉民俗芸能博物館の映像資料目録に記載されている映像や、新規記録映像をサーバに追加し、館内で視聴出来るように管理する
3. 館内映像を視聴するための館内wi-fi環境の整備
4. データのバックアップ環境の整備

【要件】

1. 映像制作
 - 少なくとも今年度で日本語と英語字幕の映像合わせて4本以上制作すること
 - 内容については当館と協議のうえ決定する
 - 高齢者や子どもにも分かりやすい構成、ナレーション、字幕の整備(日本語・英語)
撮影・編集・仕上げを含む一式(4K収録推奨)

- 映像制作にあたって再委託を行う場合には、再委託先の選定を当館と協議のうえ決定するものとする

2. サーバ構築およびプログラム制作

2-1. サーバ構築

- 維持管理費を見積書として提出すること
- 椎葉民俗芸能博物館の館内で視聴する動画を館内wi-fiを通して滞りなく視聴出来るようにすること
- サーバや映像システムの不調時に管理者が遠隔で修正できる仕様にする
- セキュリティ管理を徹底すること
- サーバ上で館内全てのタッチパネル制御システムを起動・終了出来るようにして、容易に管理出来るようにすること

2-2. タブレット端末用プログラム制作

- タブレット端末上で、展示内容に関連する動画を少なくとも5本以上選択視聴できるようプログラムすること
- 当館事務所内のPCと接続するサーバ上において、登録する動画を自由に変更できるシステムを制作し、サーバ上に設置すること
- 選択画面の仕様については、利用者にとってわかりやすい簡易なデザインとし、少なくともサムネイル画像とタイトルが入っており、当館のコンセプトに即したデザインであること
- 選択画面のデザインについては当館と協議の上で決定すること。尚、外注する場合のデザイン料は予算に含む

2-3. プロジェクター用プログラム制作

- 3F御神屋で視聴する動画のためのプログラムを制作すること
- 映像を選択できるタブレットを設置すること
- タブレットで映像を選択すると連動して、プロジェクターが起動し、映像を視聴できる仕様にする

3. 館内ローカルネットワークの設置

- 維持管理費を見積書として提出すること
- 館内全体で映像を滞りなく視聴できる通信環境にすること
- 通信速度は30Mbps程度かそれ以上が望ましい

4. データのバックアップ環境の整備

- デジタル化した椎葉民俗芸能博物館所蔵の映像900本や画像10000枚をバックアップ出来る環境を整えること。なお、Nas(Network Attached Storage)やDas(Direct Attached Storage)は問わず、館内で視聴する映像を管理するサーバ上でバックアップをしても構わない
- データの容量は28TB以上が望ましい
- 適宜データ容量を増やせる仕様であることが望ましい
- 椎葉民俗芸能博物館スタッフが容易に操作出来る仕様であること

※参考商品：

TERRAMASTER D8 Hybrid 8ベイ USBストレージHDD

Seagate IronWolf Pro 3.5インチ 24TB 内蔵ハードディスク

WD Red SN700 NVme SSD-4TB WDS400T1R0C

5. 留意事項

以下の点に注意して、改修作業をすること。

(1) 観覧性

- ・映像機器は多くの人々に見やすい仕様になっているか
- ・観覧者が鑑賞する際の動線は配慮されているか

(2) 機能性

- ・映像を視聴する際の操作は安全かつ容易に行えるものか
- ・高齢者・子供・障がい者・外国人への対応ができているか

(3) 安全性

- ・博物館資料に対する安全性への配慮されているか
- ・耐震性は担保されているか

(4) 経済性

- ・適切な改修規模か
 - ・ランニングコストの低減は検討されているか
-

6. 成果物

業務の完了時には、以下の成果物を納品すること。

- AV機器配線図・システム構成図
 - 完成写真(各展示および全景)
 - 制作した映像コンテンツ(mp4データ形式＋DVD形式)
 - 操作マニュアル(AV機器・コンテンツ再生)
 - AV機器故障時の対応マニュアル
 - 工事・制作・設置に関する報告書
-

7. その他

- 業務内容、データ内容その他、この契約履行により知り得た事項を第三者に漏らしてはならない。また、委託の範囲を超えて利用してはならない。
- 本業務で新たに発生する著作権をはじめとする事業成果のすべては、当村に帰属するものとする。
- 業務を処理するために個人情報を取り扱う場合は、個人情報及びプライバシーの保護に努めなければならないとともに、業務上知り得た個人情報等の秘密事項を他人に漏らしてはならない。この契約が終了し、または解除された後においても同様とする。
- 本仕様書に定めのない事柄、並びに疑義が生じた場合は、協議により定める。

8. 問い合わせ先

〒883-1601 宮崎県東臼杵郡椎葉村大字下福良1822番地4

椎葉民俗芸能博物館(館内改修 担当)

電 話:0982-68-7033

FAX:0982-68-7031

メール:shiibamuseum@gmail.com

※提案書提出先とは異なるので注意すること。

以上。